

&lt;川越市&gt;

『川越市長 川合よしあき』 Facebook **緊急取材!!**

この人物…気は確かなのか…

己が種を蒔き…それを市民に指摘・非難されると…極度な被害妄想…  
立場を忘れ…主権者を敵とし…ムキムキに挑む…

この人物…気は確かなのか…



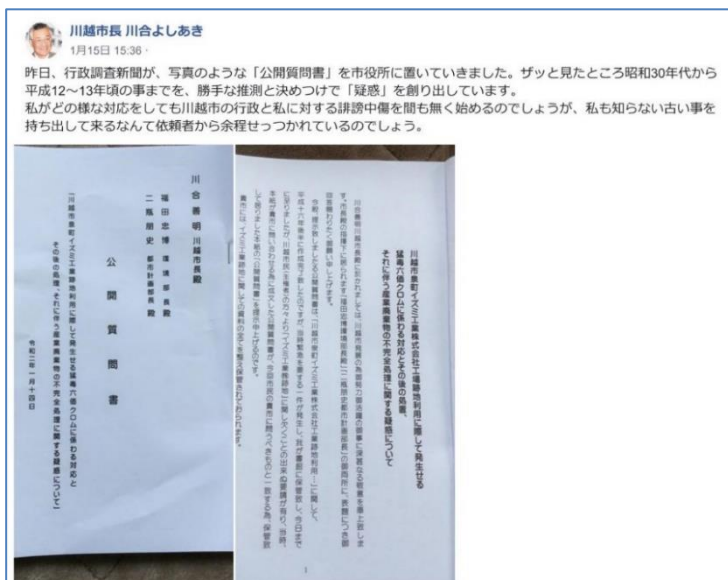
川越市長・川合善明氏自身の

Facebook「**ブログとコメント**」を「**削除**」の迷走！

どれだけの閲覧者がいるのか不明ではあるが、川合善明氏は『川越市長 川合よしあき』という Facebook アカウントで不定期に情報発信を行っている。

「川越市長」との表題であるから、公人としての発言と同じである。

過日、このアカウント上で本紙が、川越市（川合市長・環境部長・都市計画部長）に「**提出した公開質問書**」について市長自らが言及（1月15日）した。



※川合市長は本紙に対して『**勝手な推測と決めつけで「疑惑」を創り出しています**』と書き込んでいるが、皆様に御判断して頂くために近日、「**公開質問書**」を本紙HPにて公開する予定であります。

## <クリックすると拡大します>

ところが、この投稿は**5日後の20日**に川合氏自らの手で削除されていた。  
新たに投稿されたその説明は次のものだ。

**「先週、行政調査新聞から「公開質問書」をもらった事をフェイスブックに載せましたが、Gen Takahasiなる名前の人物から品の悪い、気色の悪いコメント書込みがありましたので、一度削除しました。公開質問書に関することは、近いうちにまたお知らせします。」**

Gen Takahashi 氏とは本紙でもたびたび取材に応じてくれる映画監督・高橋玄氏の英語（ローマ字）表記で現在の活動名義だ。川合氏はローマ字が苦手なのか「Takahashi」の「shi」を「si」と誤記しているが、ともかく高橋玄氏が川合市長の投稿に対して、週末になんらかのコメントを書き込んでいたらしい。

土日の休みを挟んでいたため本紙もそれを目にする前に、川合市長がすべて削除したということだ。いったいそれは、どんな内容だったのか？

ITの専門家に聞いたところ一度削除された Facebook の投稿やコメントは誰かが画像で保存したものがネット上に拡散されない限り、アカウント運営者以外が外部から復元することはできないとのことだった。ならば、当の Gen Takahashi 氏に聞くしかない。本紙は同氏に電話での緊急取材を行った。

本 紙 「高橋監督は、どのようなコメントを書き込んでいたのですか？」

高橋氏 「まずは、私のことを名指して呼び捨て表記した失礼な市長ですから、前置きとしてこちらも次元を下げて「川合」と呼び捨てにすると…(笑)。そのうえで、川合が貴紙の公開質問書について「私も知らない古い事を持ち出して疑惑を捏造している」という主旨の発言をしていたことに対して、市長の自覚の欠片もないと指摘したんです」

本 紙 「具体的には？」

高橋氏 「日韓歴史認識問題やナチス戦犯問題を例に挙げて、つまり国や自治体というのは私人ではないのだから、自分が知らない数十年前のことであっても現在の首長が市民から問われたら市民の声に答える義務があると…。そんなことも理解できずに、古

い事をネタにしてまで自分を敵にしたいのが行政調査新聞だとでも、主張する川台のレベルの低さを挑発的に揶揄したわけです」

本紙「なるほど。しかし、それであれば川台市長は高橋監督のコメントだけを削除すれば済むことです。市長が自分の投稿まで全部削除した理由はなんだと考えますか？」

高橋氏「それは自画自賛かもしれませんが、私の指摘が正鵠を射るものだったからでしょう。常識ある人間が、川台の投稿と私の書き込みでの指摘を読めば、まあ、私の言いぐさは別の問題として、川台が行政の本質を理解していないという印象は拭えませんか。さすがの川台もまずいと思っただんじゃないでしょうか？(笑)

そうでなければ、最初の自分の投稿まで消すことはないでしょうに。自信たっぷりに行政調査新聞が疑惑をでっち上げようとしているという主旨で発言したんですから、それを引っ込めることはない」

本紙「たまたま高橋監督の書き込みを読んでいた方が、うろ覚えながら、かなり挑発的だったと言っていますか？」

高橋氏「川台のほうから私を呼び捨て表記にしながら、私が市役所秘書課に川台のその投稿を修正するよう抗議、要求してさえそのまま放置していますからね。それでいて自分が呼び捨てにされたら「品の悪い、気色の悪いコメント」などと反撃にもならない捨てゼリフとともに、丸ごと削除している。

川台は、自分の投稿とこれに対する私のコメントを第三者に客観的に判断されないように、早々に削除して私への心象だけを書き飛ばしたわけですから、川台支持者からすれば「こいつ(高橋)は品が悪いやつなんだな」と思うでしょうね。まあ、私は仮にも上品ではないので、そこは反論しませんが(笑)。

私は貴紙でも報じられている不正市道認定の住民訴訟の件も知っていますから「自分を訴えた市民を市の弁護士の頭を飛び越して電話で圧力をかけるような自治体首長は聞いたこともない」として、「市長K」という題名でテレビドラマ化しようか？自分の役の主演俳優は誰がいい？川台？と結んだんですよ」

本紙「ウチの紙面も顔負けの過激さですね」

高橋氏「ほかにもコメントしましたがリテラシーのある読者がみれば、私の指摘の核心部分は理解できるはずですよ」

高橋監督は、川合市長の官製談合疑惑を追及する告発記者会見を行ったことで川合市長から名誉毀損で訴えられた「コレクト行政！連絡協議会」のメンバーのひとりだ。

同裁判は、さいたま地裁・川越支部、控訴審の東京高等裁判所でも被告のコレクト行政！が部分的に敗訴（川合市長の請求が全面的に認められたわけではなかった）となったが、コレクト行政！は現在、最高裁判所に上告中である。取材の最後に高橋監督はこう語った。

高橋氏 「私か川合が有名人なら、このやり取りで炎上して良さそうなものですが、こっちも、あちらさんも、メディアでのニュースバリューがないということでしょう(笑)。  
もつとも炎上する前に川合が逃げちゃったわけですけど。たぶん、川合は周囲には「あんなやつは相手にする価値はない」とか言いながらね。  
でも貴紙が言及されている川合市政の数々の疑惑と問題点が、いまだに全国区に飛び火しないのは、ひとえに川合自身が誰にも注目されていないからですよ。敵として、もつと頑張っただけなんですけどね」

Gen Takahashi（高橋玄）氏は日本の警察や司法の闇に正面から切り込む大胆な社会派映画で、特に海外での評価が高い映画監督だけに、「小江戸」のリングでの口喧嘩では退屈なのかもしれない。

### 公開質問書の内容には一切言及しない、川合市長の卑怯な発言

しかし本件問題の本旨は前出・高橋氏の書き込みではない。本紙が川越市（川合市長・環境部長・都市計画部長）に提出した「**公開質問書**」そのものが重要なのである。この公開質問書が言及する川越市政の問題は、ある市民が独自に調査を重ねたものである。本件については、後日、本紙で特集を予定しているが、それよりも前に川合市長は「**自分も知らない古い事**」で追及されていることを自分から暴露している。

それでいながら、概要にせよ、それがどんな問題であるかには触れず、単に本紙が提出した「**公開質問書**」は、すべて川合市長を不当に貶める疑惑の創出だということのだから呆れ果てる。わざわざ本紙「**公開質問書**」の写



真までSNSで公開しながら、その内容には触れもしない。川合市長を盲目的に（または利害関係上）信じる支持者からすれば、本紙の言論以前に先入観で否定することになる。

### 公人と私人の言動の違いも理解できていない川合善明市長

先に本紙が報じた、明ヶ戸川越市議が川合市長に泣きついた同市長の「買春疑惑の噂」と同様で、「自ら問題を公表する」川合市長の言動は独特である。普通の自治体首長であれば、災害などの緊急事対応を除いては、いかなる問題に対しても、まず事実確認の調査が行われるまで首長自ら「私はこんな問題を追及されています」などと公言することはない。

それが行政の危機管理というものであり、事実確認もされない事案に対して市長たる者が軽々に持論・推論を公言するなど言語道断である。

ところが川合市長は、新井氏ハラメント疑惑勃発当初から、裁判どころか第三者委員会の調査結果も出ないうちから、新井氏を推定加害者であるかに市長ブログで公言するという支離滅裂ぶりだ。

今回も本紙が新たな事案に対する「公開質問書」を提出した瞬間に、市長としてSNSで持論を展開している。一方、本紙が過去に報じたように、緊急を要する災害時対応では、川合市長は市役所で対策の指揮を執ることもなく自宅で休むお粗末さである。

こうした川合市長の行動律をみるにつけ、同氏には行政首長の自覚と職責、倫理観が皆無と言わざるを得ない。川合市長には市税を原資とする歳費を収入とする政治家という自覚もなく、個人のメンタリティ（精神性）で感情的に思いついた文言を熟慮もなくポンポンとSNSで発信する。

その非常識さを指摘する者は市民であろうが、側近であろうが、異様な執念をもって敵視するのだから、公人としてこれほど危険な人物もなかなかいない。

ともあれ、川合市長は新たな投稿で「公開質問書に関することは、また近いうちにお知らせします」と発言している。「お知らせ」に期待しようではないか。